

項目	項目番号	説明
タイトル	1	症例報告、ケースレポートなどの言葉を最も関心のある事象(例えば、診断、検査、介入など)と共にタイトルをつける
キーワード	2	2~5語でその症例のキーとなる要素を表現する
アブストラクト	3a	はじめに—このケースで新しく付け加わっている点は何か
	3b	患者の主な症状, 主な臨床発見, 主な臨床発見
	3c	主となる診断と介入, 主となる結果
	3d	結論 このケースから得られた主なる読者へのメッセージは何か?
イントロダクション	4	関連文献を引用しながら, この症例の背景を短く要約する
患者の情報	5a	デモグラフィックな情報(年齢、性、人種、仕事など)
	5b	患者の主な症状(主訴)
	5c	医学, 家族, 心理社会的背景—可能ならいつでも, 食生活, 生活習慣, 遺伝情報を含む—, さらに, 過去の介入とアウトカムと共に, 関連する併存症について詳述する
臨床検査結果	6	関連する身体検査の結果を記述
タイムライン	7	このケースの重要な出来事の日時(図や表で示す)
診断的アセスメント	8a	診断方法(例: 身体検査、臨床検査、画像、質問紙)
	8b	診断での考慮事項(ex.経済的、言語/文化的)
	8c	考慮した他の診断を含めて, 診断の根拠
	8d	該当する場合は, 予後の特徴(例: ステージなど)
治療介入	9a	介入の種類(例: 薬理的, 外科的, 予防的, セルフケア)
	9b	介入の実施(例: 投与量, 強度, 期間)
	9c	介入の変更(論理的根拠と共に)
フォローアップと結果	10a	フォローアップを含めた臨床経過の要約
	10b	臨床家評定式アウトカムと患者評定式アウトカム
	10c	重要なフォローアップテストの結果(ポジティブなものもネガティブなものも含める)
	10d	介入を阻害する有害事象や予測されなかった出来事
討論	11a	このケースのマネジメントの長所と限界
	11b	関連する文献
	11c	結論の論拠(因果関係のアセスメントを含めて)
	11d	このケースレポートの読者へのメッセージ
患者からの視点	12	可能ならいつでも, 患者は, 自身の観点や経験を共有すべきである
インフォームドコンセント	13	患者は同意しているか? 請求があれば提供すること。